

当院では
身体抑制を選択肢に入れず、
最大限考えて工夫する
ことを大切にしています。
身体抑制廃止委員会による
研修などで教育も
進めています。

博愛記念病院 月刊広報誌

2025.2
FREE PAPER

— 私たちの *Action* —

身体抑制は廃止します

BAD



GOOD



身 体抑制は移動の自由、行動の自由を奪う行為であり、これらの自由の抑制は禁固刑という刑罰で用いられていることからわかるように、人間にとって大きな苦痛です。身体抑制により自由に動けなくなった患者さんは、関節拘縮や褥瘡、筋力や心肺機能の低下といった身体的な悪影響だけでなく、精神にも極度のストレスを被ります。怒りや不安、スタッフへの不信感といった段階を経て、最終的にはすべてをあきらめ、生きる意欲を失ってしまいます。しかし、いまだに多くの病院では、点滴や栄養のチューブ、気管切開チューブなどを抜くと危険だからという理由で、平然と身体抑制が行われているのです。

認知症のある患者さんへの無意識の偏見や差別心もまた、身体抑制

の安易な実施につながっています。認知症のある患者さんを「自分たちと同じ一人の人間」ではなく「自分たちとは違う認知症の患者」と捉えてしまうことで、自分の家族にはできないようなことになってしまうのです。まずは、誰しもが持ち得る、この無意識の偏見や差別心を自覚しなければいけません。

私たちは身体抑制ゼロの実現を目指し、「身体抑制を選択肢に入れず、最大限考えて工夫すること」を大切にします。そのための教育に努め、センサーなどのツールを潤沢に用意し、見守りやコール対応に必要なマンパワーも確保。身体抑制ゼロに向けた取り組みを強力にサポートしていきます。

Staff Comment



身体抑制禁止推進委員会
看護師長

丸岡 美智子 Maruoka Michiko

身体抑制は患者さんの生命の危機と身体的損傷を防止するために最小限に行うもので、患者さんの人権を尊重し、安全を優先させ、ほかに代替手段がない場合に医師と相談して実施しています。そして、二次的な障害が発生しないよう、常に抑制が解除できないかを評価しています。年1回、身体抑制研修も実施しており、職員が実際の抑制体験を行うことにより、身体抑制ゼロに向け真剣に取り組めるよう検討しています。





HAKUAI PHOTO SNAP



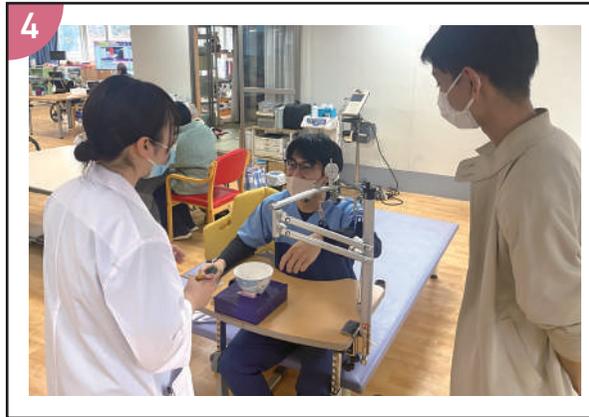
新人看護職員が「倫理」について勉強中。みんな真剣!



近隣の小学生が社会科見学に。ロボットスーツHAL®に興味津々!



今年最初の一枚! 正面入口には立派な松飾りがお目見え。



医学生が臨床実習へ。実際にさまざまなリハ機器を体験!



毎年元日には、患者さん向けのおせち料理を提供しています!

information:

入院着セットのレンタルサービスを導入しました

この度、入院患者さんやご家族のご要望を受けて、入院着セットのレンタルサービスを新たに開始しました。レンタルサービスの詳細については、当院Webサイトをご覧ください(右のQRコードよりアクセスできます)。

着心地良く、日々の生活を楽しくお過ごしいただけます!



◀ 日中活動着の一例

入院の受け入れやそのほか、なんでもご相談ください!

医療法人 平成博愛会
博愛記念病院
HAKUAI MEMORIAL HOSPITAL

☎ 088-669-2166

〒770-8023 徳島県徳島市勝占町惣田9
☎ 088-669-3362 ✉ info@hakuaihp.jp

当院について
詳しくはこちら! /



博愛記念病院 🔍